

7. 水源地域動態

7. 水源地域動態

7.1 評価の進め方

7.1.1 評価方針

水源地域動態の評価は大きく2つの流れにより評価を行う。1つは、地域との関わりという点で、ダム建設から管理以降、現在までのダム事業を整理するとともに、地域情勢の変遷を整理し、地域においてダムがどのような役割を果たしてきたか、今後の位置づけはどのように考えていくべきかなどの評価を行う。

もう1つの流れとして、ダム周辺整備事業とダム及びダム周辺の利用状況から評価を行うものである。ダム周辺に整備された施設などが十分に利用されているものとなっているか、又は逆に利用状況から見た施設は十分なものとなっているかなどの評価を行う。

最後にこれらをまとめ、ダム及びダム周辺の社会的な評価の総括を行い、課題等について検討する。

7.1.2 評価手順

水評価方針のとおり大きく2つの流れにより評価を行いとりまとめることにする。

評価作業の手順は、図7.1-1に示すとおりである。

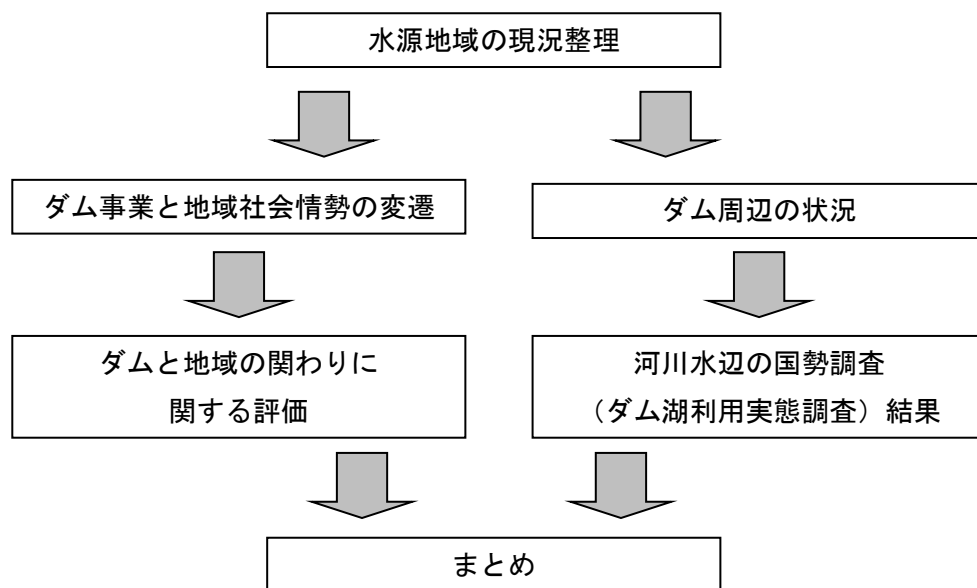


図 7.1-1 水源地域動態の評価の手順

(1) 水源地域の概況整理

水源地域の地勢や人口等の概要、交通条件や観光施設等のダムの立地特性等の視点から水源地域の概況を把握する。

(2) ダム事業と地域社会の変遷

周辺地域の社会情勢、地域の交流活動・イベント等についてダム事業の経緯とともに変遷を年表形式で整理し、ダム事業と地域社会の係わりを把握する。周辺地域の社会情勢、

地域の交流活動・イベント等は、ダムの影響とまでは言えないまでも関連がありそうな事項を抽出する。これらのまとめにより、ダムを含めた水源地域としての地域特性を把握する。

(3) ダムと地域の関わり

ダムと地域との関わりとして、ダム事業と地域社会の変遷をもとに、「地域に開かれたダム」や「水源地域ビジョン」等も参考にしながら、地域におけるダムの位置づけについて考察を行う。

さらにダム管理者と地域の関わりとして、至近 5 ヶ年程度のダム管理者と地域の交流事項等について整理し、ダム管理者の活動等について評価する。

(4) ダム周辺の状況

ダムの周辺環境整備計画を整理するとともに、現況の整備状況について整理を行い、加えて、「地域に開かれたダム」や「水源地域ビジョン」により新たに整備された施設等についても整理する。

なお、原則は「水源地域対策特別措置法」で整備した施設等は評価対象としないが、ダム事業と一体となって整備した施設等は含めることとする。

また、施設入り込み数、イベント開催状況等から周辺の利用状況を整理し、利用に関する評価を行う。

(5) 河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)結果

河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)結果より、ダム周辺施設の年間利用者数、利用形態等についても整理する。また、アンケート調査結果から、利用者がどのような感想をもっているかについても整理し、利用者の視点からのダム周辺施設(環境整備)の評価を行う。

(6) その他関連事項の整理

水源地域の社会動態に関する既往検討資料、または景観検討資料、施設の維持管理に関する検討資料等、関連する資料があれば整理する。

(7) まとめ

以上より、地域とダムの関わり、ダムの利用状況に関する評価結果をまとめ、ダムの特徴、課題等について整理する。また、負の評価結果となった事項があれば、これらについて要因を整理し、極力改善策等の提案についてとりまとめるものとする。

7.2 水源地域の概況

7.2.1 水源地域の概要

(1) 地域の概要

淀川水系は、近畿地方の中央部に位置し、琵琶湖から瀬田川、宇治川となって流下し、南から木津川、北から桂川と合流して淀川本流となって大阪平野を南西に流れ、大阪湾に注ぐ流域面積 8,240km²の大水系である。

宇治川の上流は瀬田川と呼ばれ、日本最大の湖である琵琶湖から流出する唯一の河川である。瀬田川洗堰の直下流で、大戸川を合わせ鹿跳に至り大石川・信楽川が合流し、京都府に入ると宇治川と呼ばれる。さらに天ヶ瀬ダムから宇治市を経て山城盆地を流下し、八幡市に至る。ここで宇治川・桂川・木津川の三川が合流して淀川となり、大阪平野を流下して大阪湾へと注いでいる。

天ヶ瀬ダムは洪水調節、水道用水の補給、発電を目的とした多目的ダムであり、淀川の本川である宇治川に位置している。

天ヶ瀬ダムの流域面積の全体は 4,200 km²であり、その内、ダム直接流域の面積が 352 km²、琵琶湖の流域面積(瀬田川洗堰地点)が 3,848km²である(図 7.2-1 参照)。

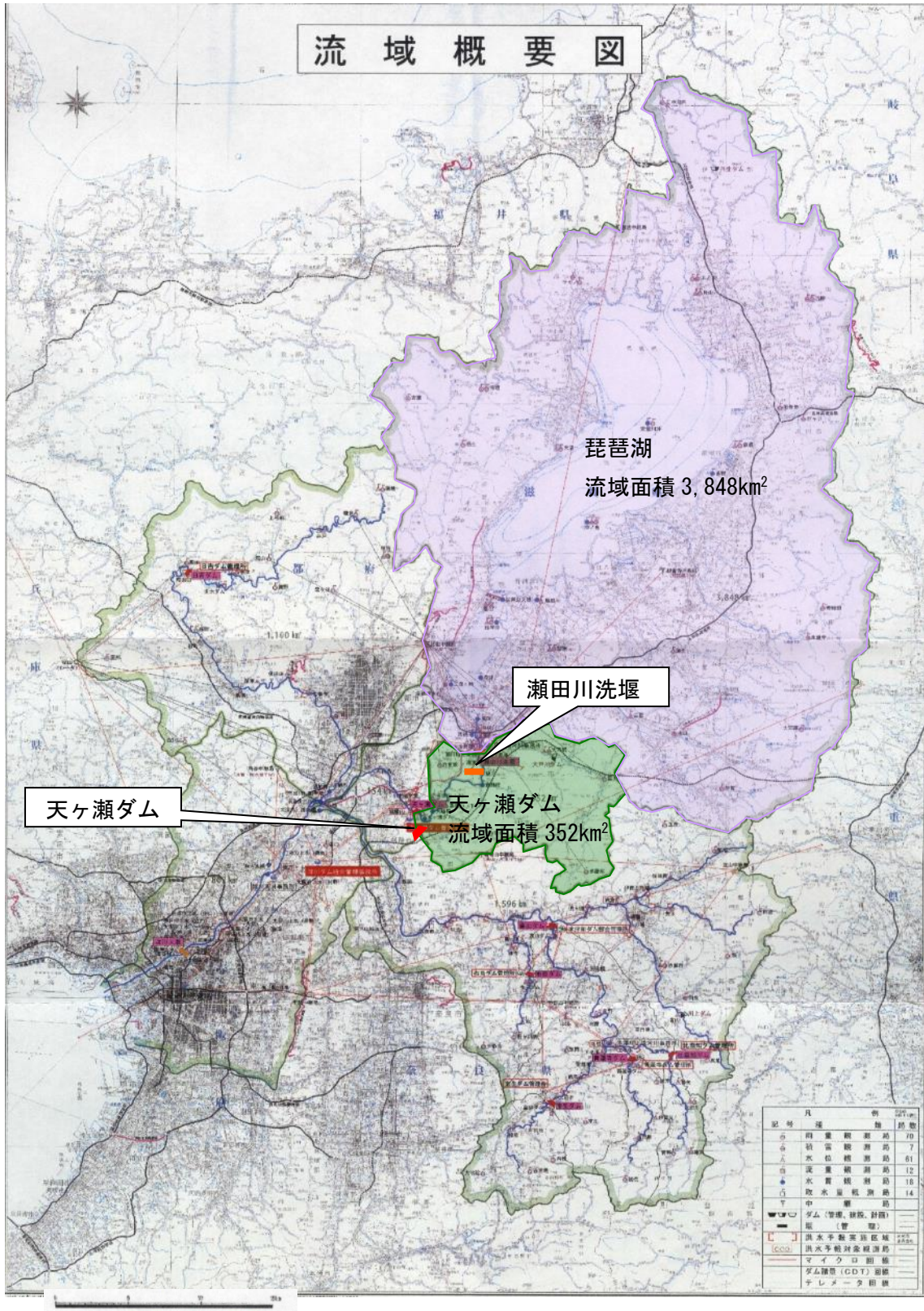


図 7.2-1 淀川流域概要図

出典：資料 7-1

(2) 水源地域の概要

天ヶ瀬ダム周辺地域は、京都・奈良の中間地点に位置することから、早くから居住が進んだ地域である。世界で3番目に古い湖と言われる琵琶湖周辺では、縄文時代には人の営みが行われていたことが湖底遺跡等から推察される。

大津市の南部地区は、滋賀県でも最も人口が集中している地区であり、東海道の要衝として栄え、また琵琶湖・淀川の水運と連携することで、交流の拠点として古くから重要な役割を果たしてきた地区である。

宇治市域は、646年に宇治橋が架橋され古代から交通の要衝として発展した地域である。また都に近く風光明媚な地区であったことから、平安時代には貴族の別荘地として栄え、源氏物語宇治十帖の主要な舞台になるなど、王朝文化の一翼を担った地域であった。天ヶ瀬ダムから約2km下流の塔の島地区周辺には、寺社等の史跡が広く分布し、特に藤原頼通が建立した平等院や、現存する最古の神社建築とされる宇治上神社等は共に世界遺産に指定されている。

宇治田原町一帯は、奈良～平安時代に仏教修学の一大拠点として栄え、金胎寺（鷲峰山上、和東町内）をはじめ医王教寺、山滝寺などの寺院が次々に建立され、禅定寺も正暦2年（991年）に創設された。都に近いことからしばしば争乱の舞台となる中で社寺仏閣は荒廃していったが、江戸時代には一帯が宮廷の禁裏御料となり、栗や松茸を豊富に産し、上方の副産物類の主産地となった地区である。また、湯屋谷の茶業家永谷宗七郎（宗円）が煎茶の近代製法を考案したことで、お茶の一般化・大衆化が進み、緑茶発祥の地としての伝承が残されている地区である。

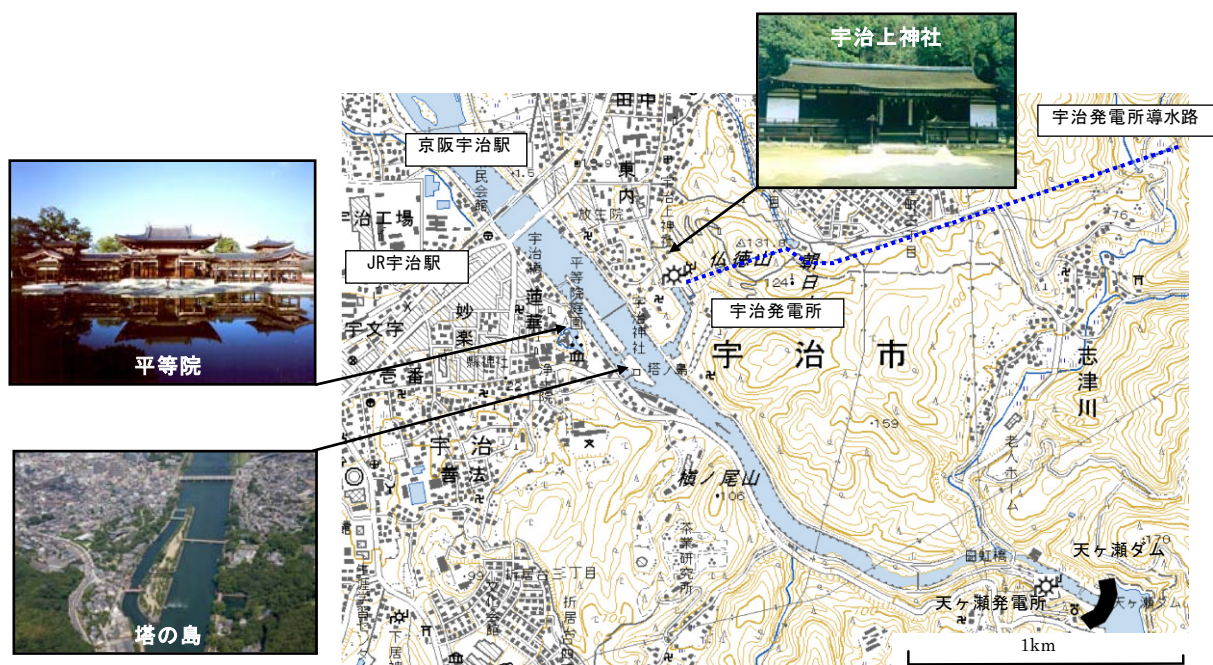


図 7.2-2 天ヶ瀬ダム下流周辺の概要図

地域周辺の特徴的な地場産業として、宇治茶の生産があげられる。宇治茶は全国的なブランドとなっており、宇治田原町には日本茶発祥の地としての伝承が残されている。

宇治市・宇治田原町のそれぞれの茶園面積(ha)・生産量(t)の推移を表 7.2-1 に示す。

表 7.2-1 茶園面積・生産量

年	宇治市		宇治田原町	
	茶園面積 (ha)	生産量 (t)	茶園面積 (ha)	生産量 (t)
H15	78.9	63.8	232.6	318.1
H16	79.0	60.1	232.6	330.2
H17	79.0	61.5	232.9	340.4
H18	79.1	55.7	233.3	308.4
H19	79.1	61.9	234.2	261.1
H20	79.4	61.1	235.2	268.8
H21	77.6	64.3	259.4	297.6
H22	77.6	64.1	272.6	260.8
H23	77.4	65.7	272.9	272.4
H24	76.2	63.6	258.0	340.7
H25	77.3	66.5	258.0	374.4
H26	80.5	64.3	258.0	338.6
H27	80.5	64.5	258.0	347.5
H28	76.1	64.6	246.2	386.5
H29	76.1	63.4	246.5	341.9
H30	76.0	64.4	246.5	352.3

出典：京都府統計書

<http://www.pref.kyoto.jp/tokei/yearly/tokeisyo/tokeisyotop.html>

出典：資料 7-2、7-3

(3) 水源地域人口

水源地域の天津市、宇治市、宇治田原町、旧信楽町の人口推移を表 7.2-2、及び図 7.2-3 に示す。

ダム竣工前(昭和 30 年(1955 年))から平成 27 年の人口増加率は、4 市町合計で 3.2 倍であり、水源地域の人口は増加している。

表 7.2-2 水源地域の人口推移

自治体名	S30	S35	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27
天津市	107,498	113,547	121,041	171,777	191,481	215,321	234,551	260,018	276,332	288,240	301,672	337,634	340,973
宇治市	40,061	47,336	68,934	103,497	133,405	152,692	165,411	177,010	184,830	189,112	189,591	189,609	184,678
宇治田原町	8,140	7,937	7,130	6,991	7,074	7,180	7,939	8,316	9,122	9,840	10,060	9,711	9,319
旧信楽町	14,724	13,830	13,248	12,866	13,190	13,511	13,843	14,215	14,904	14,392	13,739	12,727	12,132
合計	170,423	182,650	210,353	295,131	345,150	388,704	421,744	459,559	485,188	501,584	515,062	549,681	547,102

信楽町はH16に甲賀市に合併

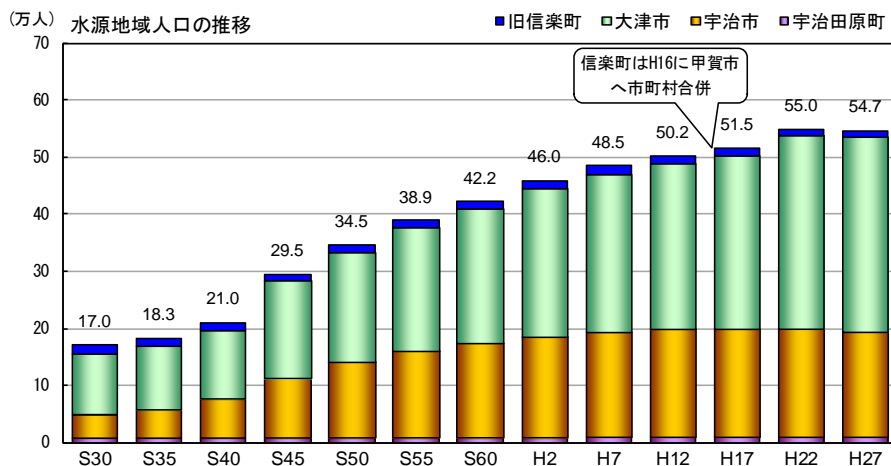


図 7.2-3 水源地域の人口推移

出典：総務省国勢調査結果

(4) 産業・就業者数

天津市、宇治市、宇治田原町の産業別就業人口比率を図 7.2-4 に示す。

産業別就業人口比率は、第 3 次産業が 46%から 75%に増加し、第 1 次産業が 16%から 1.2%、第 2 次産業が 37%から 24%に減少している。第 1 次産業の減少が顕著である。

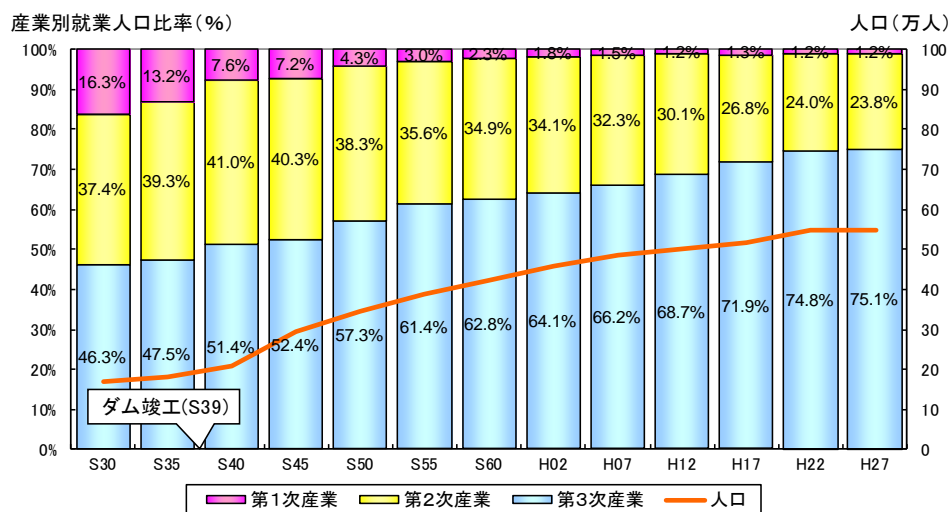


図 7.2-4 水源地域の産業別就業人口比率推移図

出典：総務省国勢調査結果

7.2.2 ダムの立地特性

(1) 天ヶ瀬ダム下流の状況

天ヶ瀬ダムの下流 2km は、世界文化遺産である平等院や宇治上神社、石塔（国の重要文化財）が建立されている塔の島などがある宇治市の観光の中心となっており、近くには鉄道駅（JR 宇治駅、京阪宇治駅）もある。

なお、宇治川の水は、琵琶湖の瀬田川洗堰上流で取水され、宇治発電所導水路を通じて宇治発電所で発電された水が、塔の島付近で放流されている。低水時における宇治川の流量は、宇治発電所の放流により、この地点から大きく増加している。

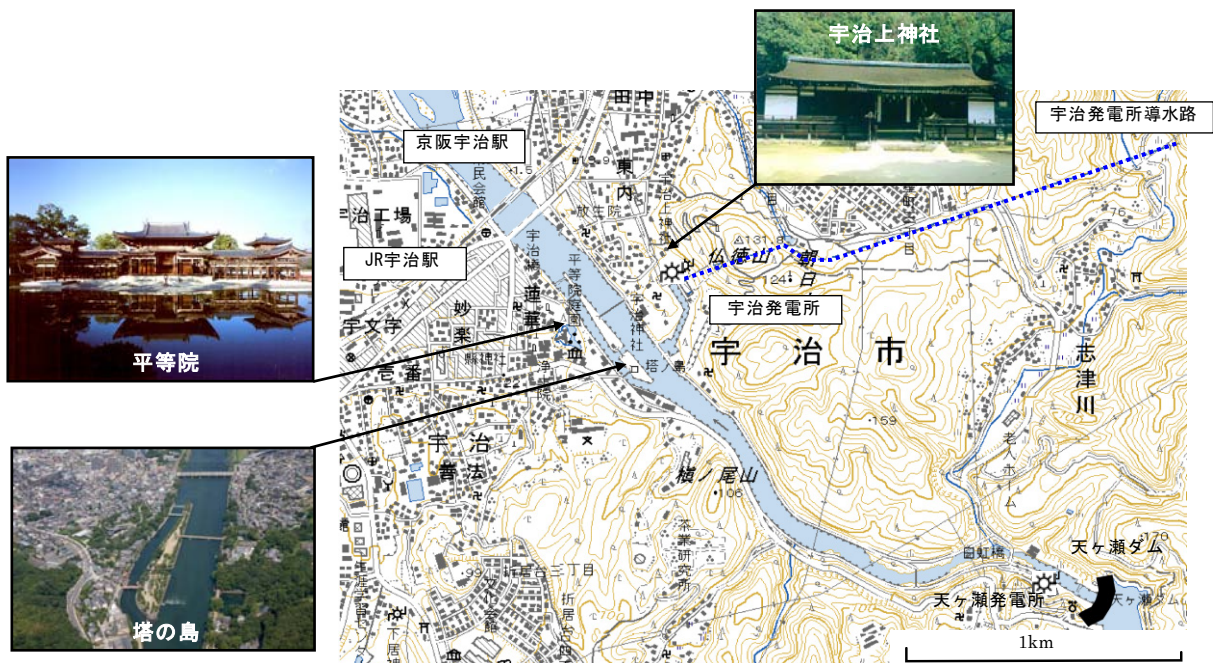


図 7.2-5 天ヶ瀬ダムの下流の状況

(2) 水源地域へのアクセス

宇治市・大津市・宇治田原町は、それぞれ府（県）道3号、62号、783号等により連絡されている。当該地域では、京滋バイパスや新名神高速道路（一部供用開始）など、広域的な道路ネットワーク整備が進められている。

宇治田原町内においては、新名神高速道路のI.C.整備が計画されている。

また、宇治川沿いに走る宇治川ライン（府県道3号）は、宇治市と大津市とを連絡する道路であるが、途中に立ち寄りポイントがあまりないことなどから、通過交通が比較的多い道路となっている。

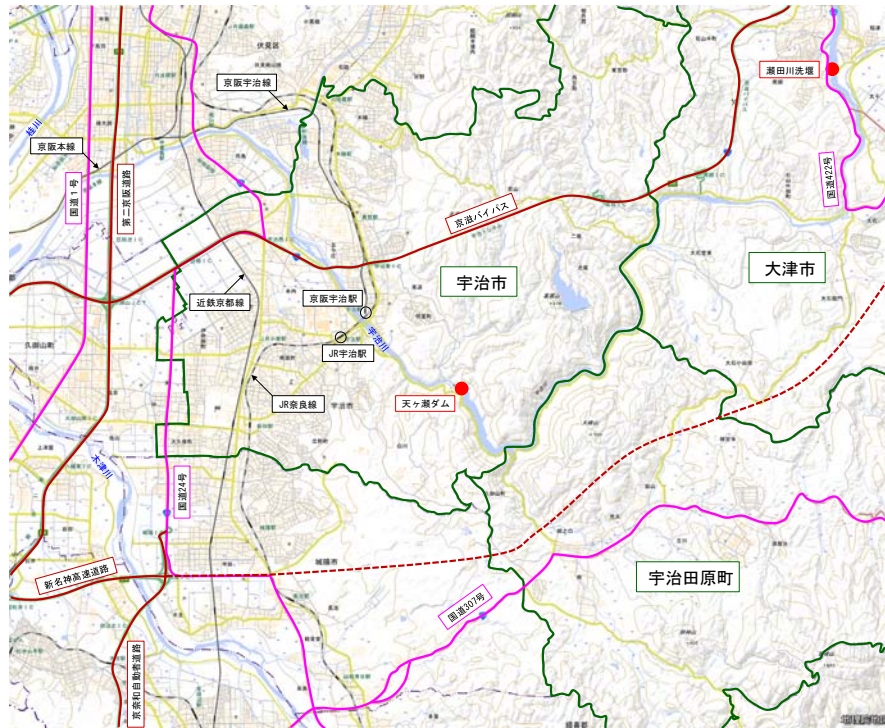
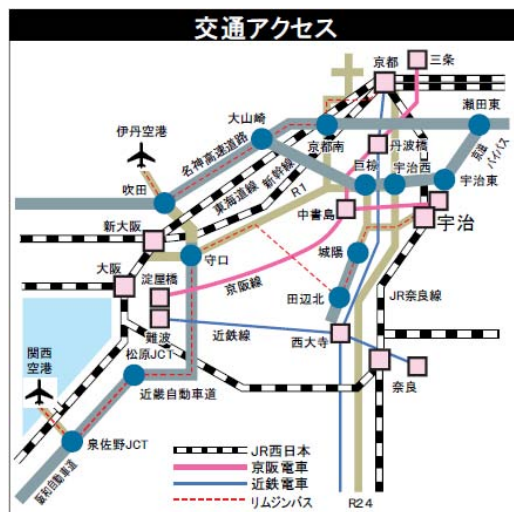


図 7.2-6 水源地域の立地特性図



宇治までの交通のご案内

東京から

東京	新幹線のぞみ号	京都	JR奈良線快速	宇治
	2時間15分		16分	

大阪から

大阪	JR京都線新快速	京都	JR奈良線快速	宇治		
	27分		16分			
淀屋橋	京阪本線特急	中書島	京阪宇治線普通	宇治		
	37分		14分			
難波	近鉄奈良線快速急行	西大寺	近鉄京都線急行	大久保	バス	宇治
	29分		20分		15分	
伊丹空港	リムジンバス	京都	JR奈良線快速	宇治		
	55分		16分			
関西空港	JRいはるか号	京都	JR奈良線快速	宇治		
	75分		16分			
関西空港		リムジンバス		宇治		
		約2時間				
京都	JR奈良線快速	宇治				
	16分					
三条	京阪本線特急	中書島	京阪宇治線普通	宇治		
	15分		14分			

図 7.2-7 宇治までの交通アクセス

出典：資料 7-3

(3) 天ヶ瀬ダムへのアクセス

JR 宇治駅から天ヶ瀬ダムへは約 3.8km あり、車で約 10 分、徒歩で約 50 分かかる。京阪宇治駅からは天ヶ瀬ダムは約 3.3km あり、車で約 10 分、徒歩で約 40 分かかる。

天ヶ瀬ダムには来場者用の駐車スペースがなく、バス路線などの公共交通機関もない。



図 7.2-8 天ヶ瀬ダムへのアクセス

7.3 ダム事業と地域社会情勢の変遷

表 7.3-1 ダム事業の経緯

年 月		事 業 内 容
昭和 28 年	9 月	13 号台風出水が淀川に未曾有の大洪水をもたらし、天ヶ瀬ダム等による洪水調節を取り入れた、淀川の治水計画改定の契機となる。
昭和 29 年	12 月	河川審議会において、天ヶ瀬ダム等による洪水調節を根幹とする「淀川水系改修基本計画」が決定され、ダム建設の運びとなる。
昭和 30 年	10 月	ダムサイトの地質調査に着手。
昭和 31 年	7 月	発電を含めた、開発計画の大綱が決定される。
昭和 32 年	4 月	建設事業に着手。天ヶ瀬ダム工事事務所を開設。
昭和 33 年	2 月	ダム型式をアーチ式コンクリートダムに決定。
昭和 34 年	2 月	洪水調節と発電を目的とした「天ヶ瀬ダムの建設に関する基本計画」を告示。
昭和 35 年	10 月	ダムサイトの地質調査完了。
昭和 36 年	1 月	ダム本体の掘削工に着手。
昭和 37 年	3 月	ダム本体の掘削を完了し、減勢池のコンクリート打設開始。
	6 月	志津川発電所を廃止して天ヶ瀬発電所を増量し、ダム建設に上水道を加えるための「天ヶ瀬ダムの建設に関する変更基本計画」を告示。
	8 月	ダム本体コンクリートの打設開始。
	10 月	定礎式(10月16日)。
昭和 39 年	3 月	堤内仮排水路を閉塞し、試験湛水を開始。
	9 月	ダム本体コンクリートの打設完了。
	11 月	天ヶ瀬ダム・天ヶ瀬発電所竣工式を挙行(11月26日)。 放流警報設備運用開始。
	12 月	宇治浄水場が一部給水開始。
昭和 40 年	3 月	試験湛水を完了(常時満水位 EL78.50m 達成)。 天ヶ瀬ダム工事事務所を廃止。
	4 月	天ヶ瀬ダム管理所を設置し管理に移行。
	9 月	台風 24 号が襲来し、最大流入量 1,530m ³ /s を記録。ダム完成後最初の洪水調節を実施。
平成 25 年	6 月	天ヶ瀬ダム再開発事業の一環として、放水路トンネル工事に着手。
	9 月	台風 18 号が襲来し、最大流入量 1,360m ³ /s を記録。ダム完成後最初の非常用洪水吐(クレストゲート)からの放流を実施。

出典：資料 1-13 に加筆

7.4 ダムと地域の関わりに関する評価

7.4.1 地域におけるダムの位置づけに関する整理

(1) 天ヶ瀬ダムの目的

天ヶ瀬ダムは、洪水調節・水道用水・水力発電を目的とする多目的ダムである。

表 7.4-1 天ヶ瀬ダムの目的

目的	内容
洪水調節	天ヶ瀬ダムの洪水調節計画は、計画高水量 1,360m ³ /s のうち 520m ³ /s を調節し、放流量 840m ³ /s に調節することで、下流宇治川の氾濫による被害低減を図る。さらに、下流枚方地点のピーク時には、放流量を 160m ³ /s に調節し、淀川本川下流域の被害低減を図る。
②水道用水 (京都府営水道)	京都府営水道の水源として最大 0.3m ³ /s(現在、暫定豊水利水を含め最大 0.9m ³ /s)を取水する。なお、山城水道は宇治市、城陽市、八幡市、久御山町の約 36 万人に給水している。暫定豊水利水とは、豊水時に暫定的に利水を許可する流量をいう。
③水力発電	天ヶ瀬発電所は、天ヶ瀬ダムから最大 186.14m ³ /s を取水し、最大有効落差 57.1m を利用して最大出力 92,000kW を得る水力発電所である。 喜撰山発電所は、天ヶ瀬ダム貯水池を下部調整池とする揚水発電所であり、最大使用水量 248m ³ /s、総落差 227.4m を利用して最大出力 466,000kW を発電している。

(2) 天ヶ瀬ダム水源地域ビジョン

天ヶ瀬ダムでは、水源地域である京都府宇治市、宇治田原町、滋賀県大津市を対象地域として、関係行政機関、地元組織、関係団体、ダム管理者等からなる『天ヶ瀬ダム水源地域ビジョン策定検討会』により、平成 17 年(2005 年)1 月に「天ヶ瀬ダム水源地域ビジョン」が策定されている。

天ヶ瀬ダム水源地域ビジョンでは、『永い歴史と豊かな文化が溶け込んだ水と緑の豊かな生活環境を目指して』を基本理念として、「自然環境の保全」「地域活性化」「広域な連携と交流」という 3 つのテーマからなる行動計画が定められている。

なお、平成 23 年(2011 年)度には「天ヶ瀬ダム水源地域ビジョン推進連絡協議会委員会」を開催し、取り組み内容の報告、今後の取り組みへの提案、意見交換等を行っている。

テーマ 1 自然環境保全

「地域が有する森林や水辺などの自然環境の永続的な保全と育成」

テーマ 2 地域活性化

「2市1町の歴史、文化・産業等の特性を活かした活性化」

テーマ 3 広域な連携と交流

「河川を軸とした流域の相互連携・交流ネットワークの形成への配慮」

天ヶ瀬ダムでは水源地域ビジョンの基本理念を以下のとおりとして、ダム水源地の自治体、住民等と共同し、ダムを活かした水源地域の自立的、持続的な活性化を図っている。

『永い歴史と豊かな文化が溶け込んだ
水と緑の生活環境を目指して』

この基本理念に沿った基本的な3テーマとその取り組み内容を示す。

テーマ1：地域が有する森林や水辺などの自然環境の永続的な保全と育成

- 森林資源保全への取り組みの推進（水源林の保全）
 - ・ 国定公園、風致地区、保安林指定などの遵守
 - ・ 森林、緑地の保全、育林、植林の実施
 - ・ 田園風景の保全と形成の取り組み
 - ・ 森林施業の基盤整備（林道整備の推進など）
 - ・ 山林オーナー制度の取り組み検討
- 河川環境の保全にむけた取り組みの推進
 - ・ 天ヶ瀬ダム再開発事業の推進
 - ・ 河川改修の推進と維持管理（宇治川下流部）
 - ・ 流入支川の河川環境の保全、創出
- 継続的な保全活動の展開に向けた取り組みの推進
 - ・ 環境保全計画の推進
 - ・ 既往の環境保全活動の継続や新たな自然愛護活動の実施
 - ・ 地元のボランティア組織及び関連施設の整備検討

テーマ2：2市1町の歴史、文化、産業などの特性を生かした活性化

- 地域資源の活用による観光、交流活動の活性化（共同開催のイベント）
 - ・ 歴史的、文化的資源を活用したソフト施策
 - ・ 水辺空間を活かしたイベント等の企画、検討
- 地域産業の振興と活用に向けた取り組みの展開
 - ・ 宇治茶の生産を活用とした活動
 - ・ 林業振興における間伐材の活用
 - ・ 柿の特産品生産を活用した活動
- 交流の場の整備、創出の検討
 - ・ 天ヶ瀬森林公園の整備推進
 - ・ 既存施設の活用、拡充
 - ・ 生涯学習、総合学習の時間等との連携強化
 - ・ グリーンツーリズム等への対応
 - ・ ダム資料館、河川事業など広報スペースの整備

テーマ3：河川を軸とした流域の相互連携、交流ネットワークの形成

- 河川軸や道路軸を活用した地域連携軸の形成
 - ・ ダム湖や宇治川沿いの動線や拠点の整備検討
 - ・ 国道422号、大津南郷宇治線に沿った広域ネットワーク機能の拡充
 - ・ 歴史街道計画の推進
- 新たな交流ネットワークの展開への取り組み、検討
 - ・ 新しい広域型の集客についての調査研究
 - ・ 新しい名所の創出への取り組み
- 情報の共有、連携による地域の一体的な活性化の推進
 - ・ イベント情報の提供、発信の取り組み
 - ・ 観光ボランティアの育成、支援
 - ・ 地域の活性化に向けた地域検討会、シンポジウムなどの共同開催
 - ・ 水源地域コミュニティ誌発刊の検討

出典：資料 7-6

天ヶ瀬ダムでは3つのテーマごとに示した取り組みにかかる様々な活動を実施し、水源地域ビジョンの実現を目指している。取り組みの実施例を以下に示す。

テーマ1：地域が有する森林や水辺などの自然環境の永続的な保全と育成

- ・天ヶ瀬ダム再開発事業の推進（白虹橋付替、トンネル工事）
- ・大石地区のオギ原の再生
- ・外来種駆除計画、湖岸緑化対策計画の策定
- ・大石地区での「大石かわべ物語」「大石川調査隊」の企画・運営(平成27年～平成30年)

テーマ2：2市1町の歴史、文化、産業などの特性を生かした活性化

- ・天ヶ瀬ダム、宇治浄水場等見学ツアーの開催(平成27年～平成30年)
- ・高校生版宇治魅力発信プラットフォームによる見学ツアー(平成29年,平成30年)
- ・観光ツーリズムの開催（平成29年,平成30年）
- ・ミズベリンクイベント（宇治抹茶で乾杯 in 塔の島）(平成28年～平成30年)
- ・天ヶ瀬ダムプロジェクションマッピングの開催(平成28年)

テーマ3：河川を軸とした流域の相互連携、交流ネットワークの形成

- ・報道発表によるイベント情報の発信(平成27年～平成30年)
- ・宇治観光ボランティアクラブとの協働イベント開催(平成30年)
- ・一日事務所長体験(平成28年,平成29年)
- ・中学校の職場体験学習(平成27年～平成30年)
- ・一斉清掃の開催(平成27年～平成30年)

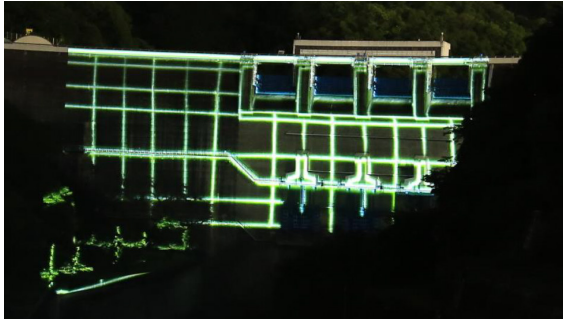


大石かわべ物語（自然観察会、ミニイベントの開催）



大石川調査隊

図 7.4-1(1) ビジョン実現のための活動事例



イベントや天ヶ瀬ダムツアーの開催



中学校の職場体験学習

図 7.4-1(2) ビジョン実現のための活動事例

(3) 水源地域ビジョンの進め方

天ヶ瀬ダム水源地域ビジョン推進連絡協議会により、ビジョンに沿った施策の検証と展開を検討している。

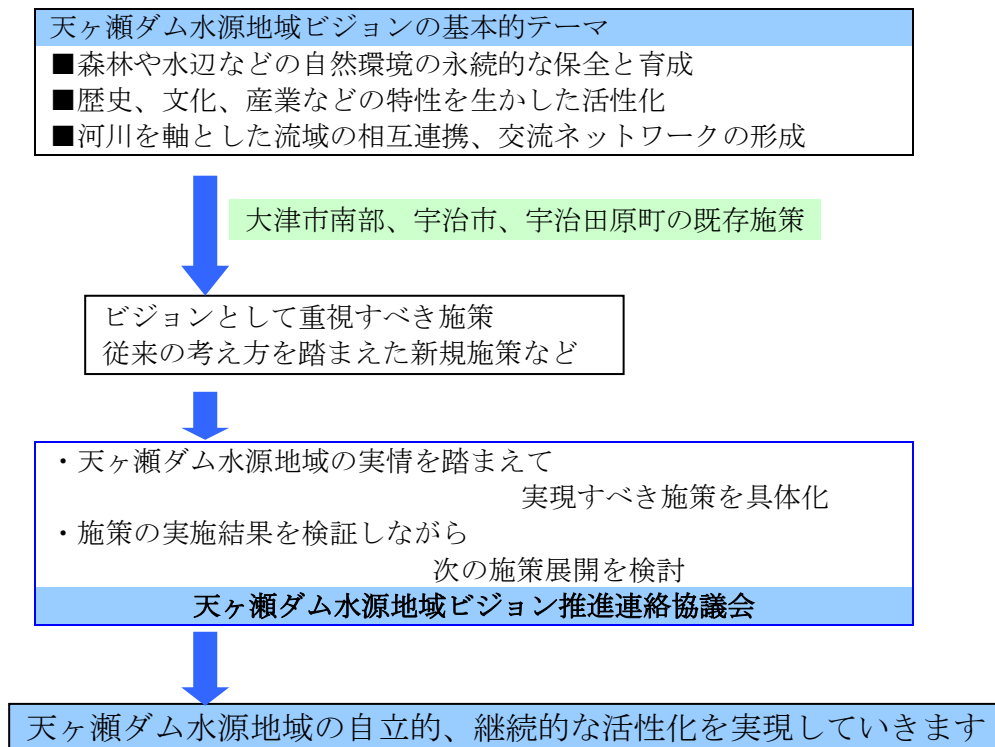


図 7.4-2 水源地域ビジョンの進め方

出典：資料 7-6



図 7.4-3 水源地域ビジョン推進連絡協議会会議状況



図 7.4-4 水源地域連絡協議会のイメージ

出典：資料 7-6

7.4.2 地域とダム管理者の関わり

(1) ダム見学者数

平成 27 年～令和元年の天ヶ瀬ダムの見学者数は、ダムサイト入口に設置されているセンサーによる計測値で 2.58 万人/年(5ヶ年平均)であり、令和元年(2019年)は約 1.4 千人減少している。

また、令和元年(2019年)度の月別の見学者は、3月～5月が多く、3月が 2,844 人、4月が 3,101 人、5月が 3,790 人となっている。また、全ての月で見学者が 1 千人を超えており、年間を通じて見学者が訪れている。

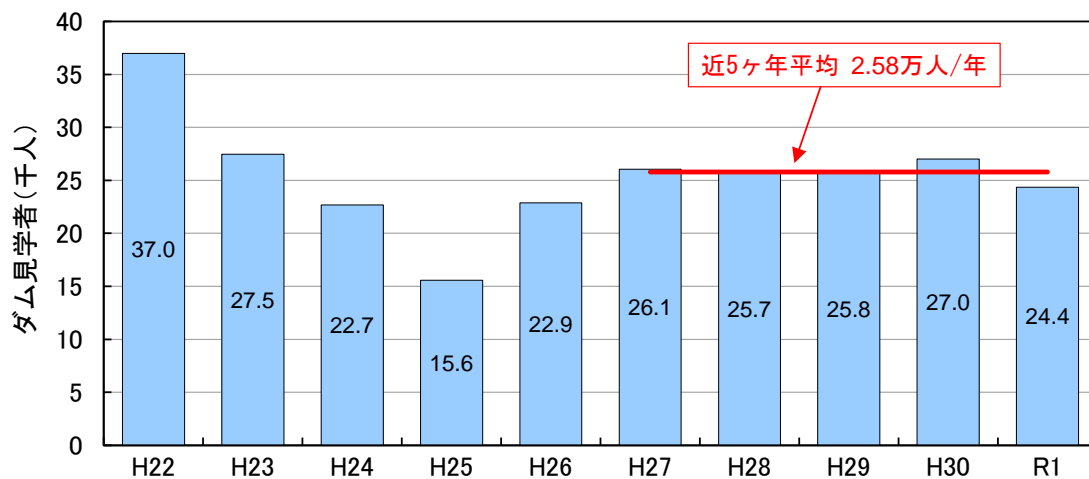


図 7.4-5 ダム見学者数の経年変化

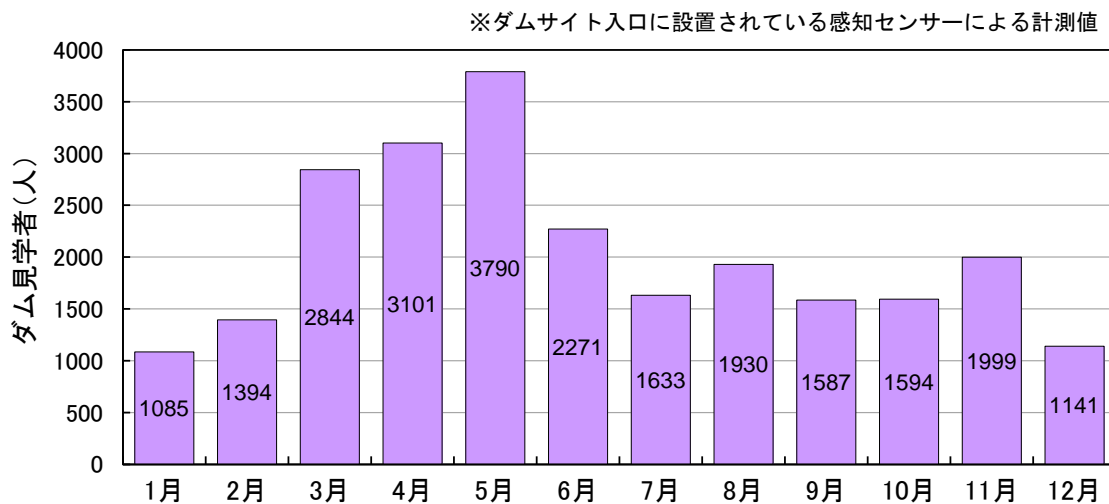


図 7.4-6 月別ダム見学者数の推移(令和元年度)

出典：令和元年度入場者数合計表(淀川ダム統合管理事務所)

(2) 職場体験

中学生の職場体験学習を受け入れている。

平成 27(2015 年)年から参加人数は減ってきており、令和元年(2019 年)度は実施していない。

表 7.4-2 中学生職場体験の参加人数

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
5 校 15 名	4 校 12 名	2 校 6 名	1 校 3 名	未実施

出典：職場体験学習実施状況一覧表(淀川ダム統合管理事務所)



天ヶ瀬ダムの役割について



ダム本体の点検



ダム本体の点検



漏水量調査



簡易水質試験



生物調査

図 7.4-7 中学生の職場体験(平成 27 年度)

出典：淀川ダム統合管理事務所ホームページ記者発表資料



ダムの操作説明



機械点検の様子



測量の様子



支川の水質確認



不法投棄の回収



ダム見学者の案内

図 7.4-8 中学生の職場体験（平成 28 年度）

出典：淀川ダム統合管理事務所ホームページ記者発表資料



測量の様子



水質確認



ダム巡視



設備点検

図 7.4-9 中学生の職場体験（平成 29 年度）

出典：淀川ダム統合管理事務所ホームページ記者発表資料



天ヶ瀬ダムの役割について



漏水量調査



ダム操作の見学



水質調査

図 7.4-10 中学生の職場体験（平成 30 年度）

(3) 住民協働事業

天ヶ瀬ダムでは、新たなダム管理の取り組みとして、平成23年(2011年)度から住民協働によるダム(流域)管理に取り組んでいる。

1) 宇治観光ボランティアガイドクラブとの協働

① 協働の背景

- 天ヶ瀬ダムの下流約2kmは、世界文化遺産である平等院や宇治上神社、石塔(国の重要文化財)が建立されている塔の島など宇治市の観光の中心であり、近くには鉄道駅(JR宇治駅、京阪宇治駅)もある。
- 天ヶ瀬ダム来訪者の多くは休日の来訪者である。
- 一方で、ダム職員による案内は平日のみ、しかも、事前予約が必要などの制約があり広報上の課題であった。
- 宇治市としても天ヶ瀬ダムは是非とも活用したい観光資源であった。

② 協働の目的

- 天ヶ瀬ダムを広く国民に知っていただき、あわせて、観光資源として地元を活用していただくことで上下流交流の促進をはかること。
- そのための手法として、淀川ダム統合管理事務所と宇治観光ボランティアガイドクラブが協働事業に取り組んだ。

③ 協働の内容

- 淀川ダム統合管理事務所は、ボランティアガイドクラブに対し研修会を実施し、天ヶ瀬ダムや淀川流域に関する情報を提供する。
- ボランティアガイドクラブは、宇治を訪れる旅行者を案内する際に、研修会などで得た知識を活用する。

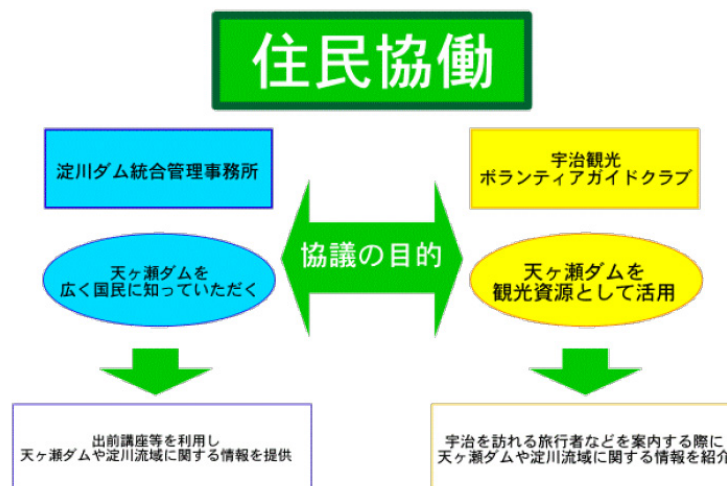


図 7.4-11 協働の内容

④ 協働に向けた取り組み

協働に向けた取り組みとしては、「森と湖に親しむ旬間」において、京都府山城教育局が主催する「やましろ未来っ子サイエンスラリー」を各年で開催するとともに、(一社)京都山城振興局主催で、宇治観光ボランティアクラブ等の協力による見学ツアーを平成29年(2017年)、30年(2018年)度に開催した。また、地元の高校生を対象に宇治市の主催による魅力発信ツアーを平成29年(2017年)度、30年(2018年)度に開催するなど、様々な取り組みを実施した。

表 7.4-3 協働に向けた取り組みの実施状況

年度	実施日	取り組み内容	参加者数
平成 27 年度	H27. 5/17(日)	大石川クリーン作戦	36 名
	H27. 7/26(日)	森と湖に親しむ旬間・やましろ未来っ子サイエンスラリー	70 名
平成 28 年度	H28. 5/21(日)	大石川クリーン作戦	39 名
	H28. 7/7(木)	水辺で乾杯 2016 宇治茶で乾杯！ in 塔の島	60 名
	H28. 8/7(日)	森と湖に親しむ旬間 やましろ未来っ子サイエンスラリー	66 名
	H28. 8/6(土) H28. 8/7(日)	天ヶ瀬ダムプロジェクションマッピング (天ヶ瀬ダム観光資源化社会実験)	1,200 名
平成 29 年度	H29. 6/11(日)	JR ふれあいハイキング 「宇治川の景観、天ヶ瀬ダムの優美さを体現」	52 名
	H29. 8/6(日)	森と湖に親しむ旬間 やましろ未来っ子サイエンスラリー 「天ヶ瀬ダムの役割を学ぼう」	90 名
	H29. 11/11(日)	めっ茶、好きやねん！！～宇治に届け～「天ヶ瀬ダム見学ツアー」	8 名
平成 30 年度	H30. 5/12(土) H30. 5/13(日) H30. 5/26(土) H30. 5/27(日)	見学ツアー 「天ヶ瀬ダムを見に行こう！」	合計 133 名 (5/12)36 名 (5/13)26 名 (5/26)33 名 (5/27)38 名
	H30. 8/5(日)	森と湖に親しむ旬間 やましろ未来っ子サイエンスラリー 「天ヶ瀬ダムの大きさを実感しよう」	合計 54 名 (子供 10 名)
	H30. 8/24(金) H30. 8/31(金) H30. 9/5(水) H30. 9/8(土) H30. 9/9(日)	「天ヶ瀬ダム・高山ダム」特別見学ツアー	合計 103 名 (8/31)26 名 (9/8)36 名 (9/9)41 名 8/24, 9/5 は中止
	H30. 11/3(土・祝)	宇治散策ツアー	64 名
	H30. 11/11(日)	めっ茶、好きやねん！！～宇治に届け～「宇治魅力発見ツアー」	合計 17 名 (高校生 7 名, 大学生 10 名)
	令和元年度	R1. 7. 5 (金)	水辺で乾杯 2019 宇治茶で乾杯！ in 中の島
	R1. 8. 4 (日)	森と湖に親しむ旬間イベント やましろ未来っ子サイエンスラリー JR ふれあいハイキング合同企画 「天ヶ瀬ダムの優美な姿を目に映そう」	38 名 (小学四年生以上)
	R1. 9. 29 (日) 午前(9 時 30 分～ 11 時 00 分) 午後(13 時 45 分～ 15 時 15 分)	E ボート川くんだり体験&天ヶ瀬ダムプレミアム 見学 「ダム特別体験」	参加者 57 名 30 名 (午前) 27 名 (午後)
	R1. 10. 27 (日)	瀬田川クリーン作戦	250 名
	R1. 11. 28 (木) R1. 11. 29 (金)	ファミツアーで天ヶ瀬ダムと宇治地域の観光 名所を堪能 ～『インフラツーリズム魅力倍増プロジェクト』の取り組み～	5 名 (アメリカ・フラ ンス・イギリス・カナ ダ・スウェーデン各国 出身の旅行会社社員 や旅行サイトライター など)



宇治の水辺でイッパイ(一杯)いい笑顔が誕生



乾杯の横で鵜飼い

水辺で乾杯 2016 の様子



台湾の大学生達も参加

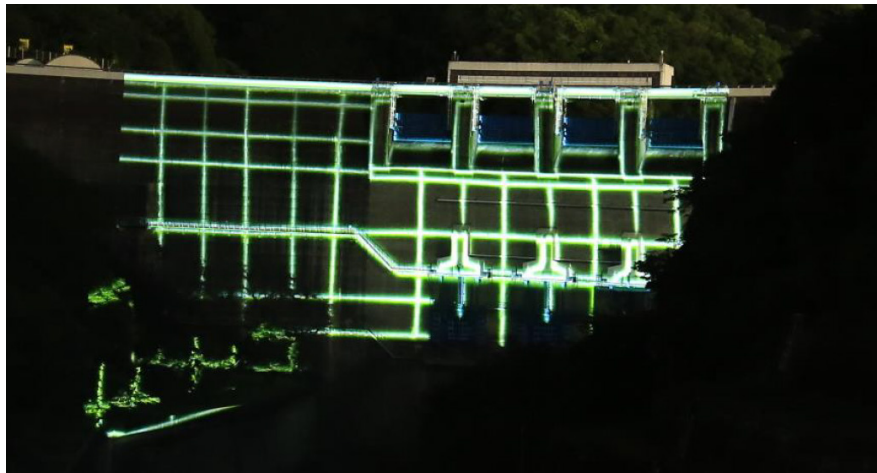


宇治橋をバックに乾杯!

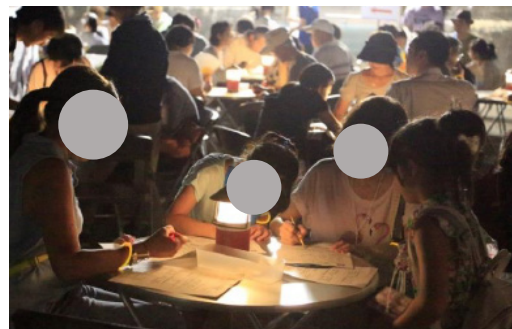
水辺で乾杯 2016 の様子

図 7.4-12 水辺で乾杯 2016

出典：淀川ダム統合管理事務所ホームページ記者発表資料



プロジェクションマッピングの様子



イベントの様子

図 7.4-13 天ヶ瀬ダムプロジェクションマッピング

出典：淀川ダム統合管理事務所ホームページ記者発表資料



JR宇治駅でツアーの受付



天ヶ瀬ダム of 役割説明の様子



減勢池からゲートを見学する様子



水内の効果体感の様子



天ヶ瀬発電所の見学の様子



宇治市歴史資料館での講演の様子

図 7.4-14 森と湖に親しむ旬間・やましろ未来っ子サイエンスラリー（平成 27 年度）

出典：淀川ダム統合管理事務所ホームページ記者発表資料



JR宇治駅でツアーの受付



ボランティアガイドによる名所の説明



水力発電の仕組みを学習



ダム工事現場の見学



水路トンネルの見学



ダムの大きさを体感

図 7.4-15 森と湖に親しむ旬間・やましろ未来っ子サイエンスラリー（平成 28 年度）



宇治発電所見学



天ヶ瀬ダム見学の様子



再開発事業工事現場の様子



天ヶ瀬ダム見学の様子

図 7.4-16 森と湖に親しむ旬間・やましろ未来っ子サイエンスラリー（平成 29 年度）



宇治発電所見学



天ヶ瀬ダム見学の様子



再開発事業工事現場の様子



天ヶ瀬ダムゲート点検放流の見学の様子

図 7.4-17 森と湖に親しむ旬間・やましろ未来っ子サイエンスラリー（令和元年度）



主催者の挨拶



清掃活動の様子



集まったゴミ

図 7.4-18 大石川クリーン作戦（平成 27 年度）

出典：淀川ダム統合管理事務所ホームページ記者発表資料



主催者の挨拶



清掃活動の様子



集まったゴミ

図 7.4-19 大石川クリーン作戦（平成 28 年度）

出典：淀川ダム統合管理事務所ホームページ記者発表資料



宇治浄水場での説明



宇治浄水場見学の様子



天ヶ瀬ダム見学の様子



天ヶ瀬ダム見学の様子（ゲート点検）

図 7.4-20 JR ふれあいハイキング「宇治川の景観、天ヶ瀬ダムの優美さを体現」
（平成 29 年度）

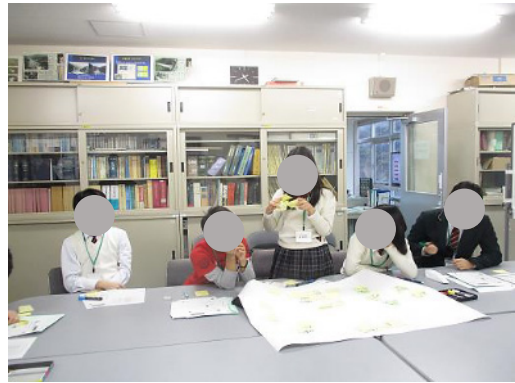
出典：淀川ダム統合管理事務所ホームページ記者発表資料



天ヶ瀬ダム見学の様子



天ヶ瀬ダム見学の様子



グループワーク

図 7.4-21 めっ茶、好きやねん！！～宇治に届け～「天ヶ瀬ダム見学ツアー」（平成 29 年度）

出典：淀川ダム統合管理事務所ホームページ記者発表資料



天ヶ瀬ダム見学の様子



職員作成のインスタパネルなどで記念撮影

E ボートで宇治川を川下り

図 7.4-22 E ボート川くだり体験&天ヶ瀬ダムプレミアム見学「ダム特別体験」(令和元年度)

出典：淀川ダム統合管理事務所ホームページ記者発表資料

2) 大石地区における環境保全の取り組み

滋賀県大津市大石地区の天ヶ瀬ダム湖上流域には、豊かで多様な河川本来の自然が残されており、住民協働による環境保全を薦めるため、環境学習を計画し平成23年度より、水生生物調査（夏季）、自然観察勉強会（春季・秋季）等を実施している。

こうした取り組みを地域や小学校・PTA、NPO、河川レンジャーの皆さんとの協働で進めるため、相互理解と協働のためのパートナーシップ構築を目指している。

表 7.4-4 大石地区における環境保全の取り組み

年度	実施日	取り組み内容	参加者数
平成27年度	H27.5/30(土)	第3回『みんなで創る！大石かわべ物語』	150名
	H27.8/2(日)	ふるさとの川（大石川）調査隊	59名
平成28年度	H28.5/28(土)	第4回『みんなで創る！大石かわべ物語』	150名
	H28.7/29(金)	ふるさとの川（大石川）調査隊	80名
平成29年度	H29.7/28(金)	ふるさとの川（大石川）調査隊	70名
平成30年度	H30.8/7(火)	ふるさとの川（大石川）調査隊	中止
令和元年度	R1.9.28(土)	ふるさとの川（大石川）調査隊	約20名

※H30は高温注意報の発令により開催中止



自然観察会の様子



ヨシ工作の様子



地元バンドによるカントリーソングの演奏の様子



よさこいサークル『笑』によるパフォーマンス

図 7.4-23 第3回「みんなで創る！大石かわべ物語」(平成27年度)

出典：淀川ダム統合管理事務所ホームページ記者発表資料



自然観察会の様子



ヨシ工作の様子



地元バンドによるカントリー音楽



野外でお抹茶



よさこい踊り



グラウンドゴルフ

図 7.4-24 第 4 回「みんなで創る！大石かわべ物語」の様子（平成 28 年度）

出典：淀川ダム統合管理事務所ホームページ記者発表資料



水生生物調査の様子



見つかった生き物たち



川遊びに夢中になる子供たちの様子



参加者の様子

図 7.4-25 「ふるさとの川（大石川）調査隊」（平成 27 年度）

出典：淀川ダム統合管理事務所ホームページ記者発表資料



水生生物調査の様子



捕れた生き物の観察



パックテストの様子

図 7.4-26 ふるさとの川（大石川）調査隊（平成 28 年度）

出典：淀川ダム統合管理事務所ホームページ記者発表資料



水生生物調査の様子



捕れた生き物の観察

パックテストの様子

図 7.4-27 ふるさとの川（大石川）調査隊（平成 29 年度）

出典：淀川ダム統合管理事務所ホームページ記者発表資料



水生生物調査の様子

捕れた生き物の観察

図 7.4-28 ふるさとの川（大石川）調査隊（令和元年度）

出典：淀川ダム統合管理事務所 Twitter (@mlit_yodoto(午前 10:36@19 年 10 月 4 日))

(4) 瀬田川一斉清掃

平成 19 年(2007 年)から瀬田川水辺協議会主催による「瀬田川クリーン作戦」(瀬田川一斉清掃)が実施されている。参加団体は沿川自治会、NPO 法人瀬田川リバプレ隊、滋賀県ボート協会(各大学、高校ボート部)、ボーイスカウト、瀬田川流域観光協会、漁協等である。
 ※平成 29 年(2017 年)は台風 21 号の影響により中止となった。

表 7.4-5 瀬田川クリーン作戦実施状況

年度	実施日	参加者数	ごみ収集量
平成 27 年度	H27. 10/25(日)	748 人	計 1,200kg
平成 28 年度	H28. 10/23(日)	460 人	計 1,000kg
平成 29 年度	H29. 10/22(日)	荒天中止	—
平成 30 年度	H30. 10/28(日)	250 人	計 900kg
令和元年度	R01. 10/27(日)	250 人	計 720kg



図 7.4-29 瀬田川クリーン作戦(平成 27 年度)

出典：琵琶湖河川事務所ホームページ記者発表資料



図 7.4-30 瀬田川クリーン作戦（平成 28 年度）

出典：琵琶湖河川事務所ホームページ記者発表資料



図 7.4-31 瀬田川クリーン作戦（平成 30 年度）

出典：淀川ダム統合管理事務所ホームページ記者発表資料



図 7.4-32 瀬田川クリーン作戦（令和元年度）

出典：淀川ダム統合管理事務所ホームページ記者発表資料

(5) ダムカード

ダムカードは、平成19年(2007年)度の森と湖に親しむ旬間に全国の国土交通省の直轄ダムや独立行政法人水資源機構の管理するダムで配布が始まったカードであり、天ヶ瀬ダムのダムカードは天ヶ瀬ダム管理支所で配布を行っている。

平成19年(2007年)7月からダムカードを配布しており、令和元年(2019年)末までに累計約7.1万枚配布し好評である。



図 7.4-33 天ヶ瀬ダムのダムカード(上：通常カード、下：天皇陛下御在位三十年記念カード)

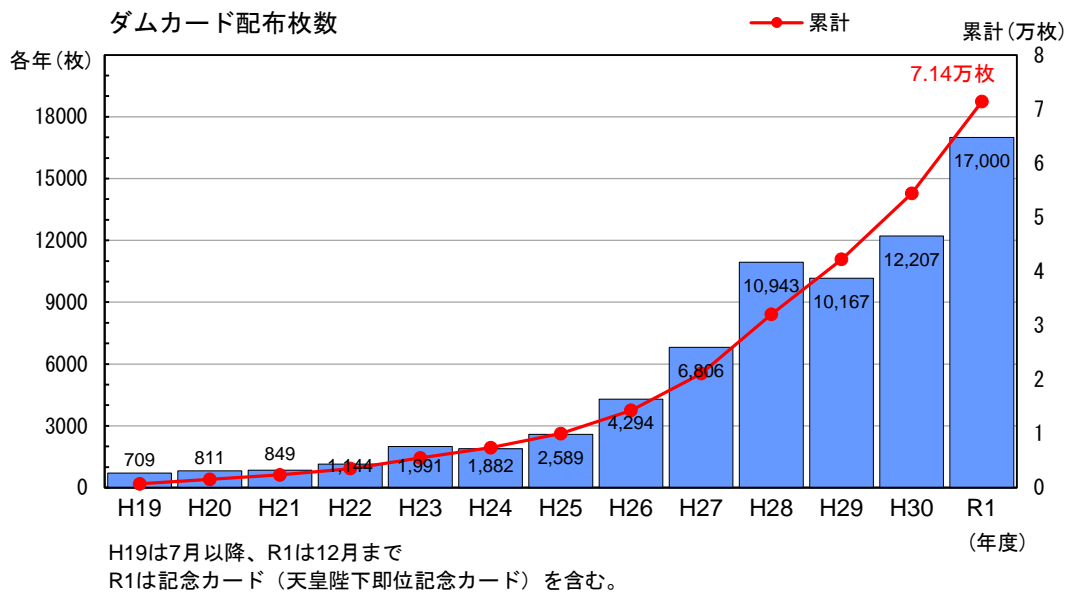


図 7.4-34 ダムカード配布枚数

7.5 ダム周辺の状況

7.5.1 ダム周辺整備事業の状況

(1) ダム周辺整備の状況

天ヶ瀬ダム周辺では、図 7.5-1 に示す施設の整備がダムサイト周辺と貯水池上流の大石地区で行われており、天ヶ瀬森林公園における散策や大津市都市公園でのスポーツ活動等の利用が図られている。

平成 31 年(2019 年)3 月に宇治市の「宇治市天ヶ瀬ダムかわまちづくり計画」(図 7.5-2 参照)が国土交通省「かわまちづくり」に登録されたことにより、管理用通路や天ヶ瀬ダム直下に広場を整備することにより市街地との周遊性を向上させるほか、民間事業者にも参画を促し、広場やダム周辺の水辺を活用したイベント等の開催により、観光振興の促進が図られることとなっている。



図 7.5-1 ダム周辺図

【かわまちづくり支援制度の概要】

“かわまちづくり”とは、地域が持つ「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、地域活性化や観光振興などを目的に、市町村や民間事業者、地域住民等と河川管理者が各々の取組みを連携することにより「河川空間」と「まち空間」が融合した良好な空間を形成し、河川空間を活かして地域の賑わい創出を目指す取組である。

国土交通省では、“かわまちづくり”を促進するため、平成21 年度より「かわまちづくり」支援制度を設け、必要な河川管理施設の整備などを行うハード支援。河川空間へのイベント施設やオープンカフェの設置等、地域のニーズに対応した多様な利用を可能とする「都市・地域再生等利用区域」の指定などのソフト支援を実施している。

表 7.5-1 ダム周辺施設

施設等名称	内容	規模	事業主体	管理主体
ダム本体	提体付近広場	総面積： 2,600m ²	国	国
	案内板	1箇所	ダム管理者	国
右岸展望広場	展望施設	総面積： 2,000m ² 1箇所	ダム管理者	国
天ヶ瀬森林公園	展望施設	総面積：900,000m ²	京都府	宇治市
	遊歩道	2箇所	京都府	宇治市
	観察小屋、森の家 四阿	各1棟	京都府	宇治市
大石緑地スポーツ村	テニスコート	総面積：84,024km ² 20面 13,760m ²	ダム管理者 大津市	大津市
	多目的グラウンド	1面 15,386m ²	ダム管理者 大津市	大津市
	駐車場	2箇所 6,151m ²		
	ゲートボール場	4面 1,855m ²		
	ローラースケート場	1箇所 3,130m ²		

【宇治市天ヶ瀬ダムかわまちづくり】（平成31年3月国土交通省「かわまちづくり」に登録）

宇治市では、「戦略的な産業活性化の推進」として、歴史遺産、宇治茶、自然・景観等、貴重な財産を活かし、観光復興・地域の活力向上に取り組んでいる。

この取り組みを充実させるため、天ヶ瀬ダムを観光資源として有効的に活用し、管理用通路や天ヶ瀬ダム直下に広場を整備することにより市街地との周遊性を向上させるほか、民間事業者にも参画を促し、広場やダム周辺の水辺を活用したイベント等の開催により、観光復興の促進を図る。国土交通省では、この取り組みに対し、必要な河川管理施設の整備のほか、河川空間で営利活動を実施する場合には、河川占用敷地許可準則22条に基づく、都市・地域再生等利用区域の指定等の支援を実施していく。

表 7.5-2 宇治市天ヶ瀬ダムかわまちづくり事業計画、事業主体

河川管理者名	かわまち計画策定日	事業期間	各事業主体
淀川水系宇治川、近畿地方整備局 淀川ダム統合管理事務所	平成31年3月8日	国交省：R1～R3年 宇治市：R1～R3年	国交省 宇治市

○計画、概要

天ヶ瀬ダムを近くで感じることができるよう広場を整備することで、放流を含めたダムの迫力を体感してもらうことに併せ、ダムの果たす役割について学んでもらえるように整備を行う。

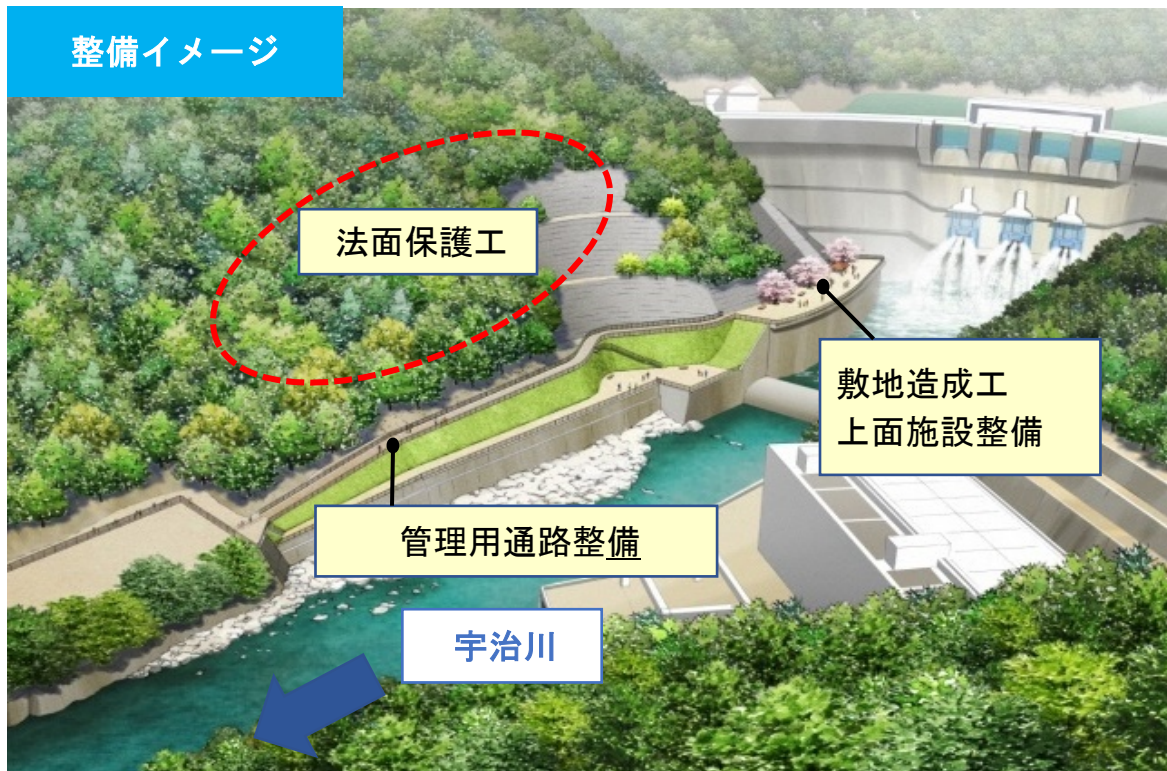


図 7.5-2 整備イメージ図

○整備内容

- ハード施策 国交省：管理用通路整備、敷地造成工、法面保護工
宇治市：上面施設整備（転落防止柵、東屋、舗装、植栽など）
- ソフト施策 宇治市：観光情報の発信・拡散 など
民間：ツアー等イベントの開催など

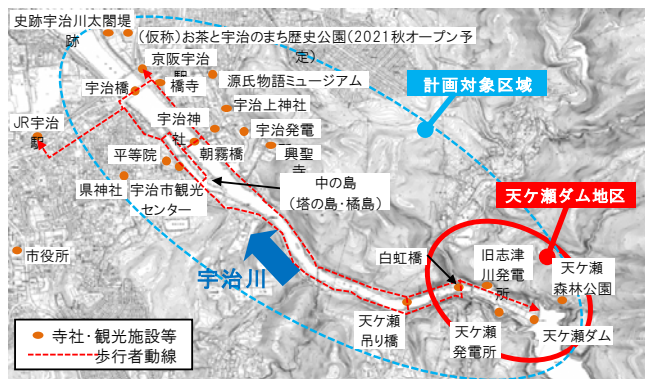


図 7.5-3 位置図

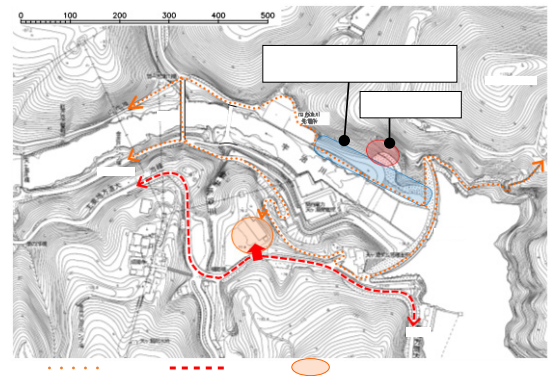


図 7.5-4 平面図

○ソフト施策

- 国土交通省：天ヶ瀬ダムの放流の実施
天ヶ瀬ダムの夜間ライトアップ
天ヶ瀬ダム見学会
- 宇治市： SNS (Facebook, Instagram 等) を用いて、観光情報の発信・拡散を行う
- 民間事業者：市内の名刹と天ヶ瀬ダムを巡るツアーの開催
天ヶ瀬ダムからEボートで川下り
- 今後の展望： 今後は上記の実施に向けて関係機関と議論を深める
サウンディング調査等により、民間活力の活用方法を探る

○参画機関(宇治市地域の観光発展検討会)

- 地元等：(宇治商工会議所、(公社)宇治市観光協会)
- 民間事業者：(京阪ホールディングス(株)、(一社)京都山城地域振興社)
- 行政：(国土交通省、京都府、宇治市)

○かわまちの運営(維持管理)

- 河川管理者：管理用通路、敷地造成、法面保護の維持管理
- 宇治市：上面施設（東屋、転落防止柵、舗装、植栽等）の維持管理

(2) 天ヶ瀬ダム再開発事業

天ヶ瀬ダム再開発事業については、「1.6 天ヶ瀬ダム再開発事業」に詳述している。

7.5.2 ダム湖周辺施設の利用状況

(1) 近隣の観光施設等

1) 観光入込客数

宇治市における観光入込客数を図 7.5-5 に示す。

宇治市の観光入込客数は、長期的には増加しているが、近年 5 年間は、55,000 人程度で推移しており、顕著な増減傾向は見られない。

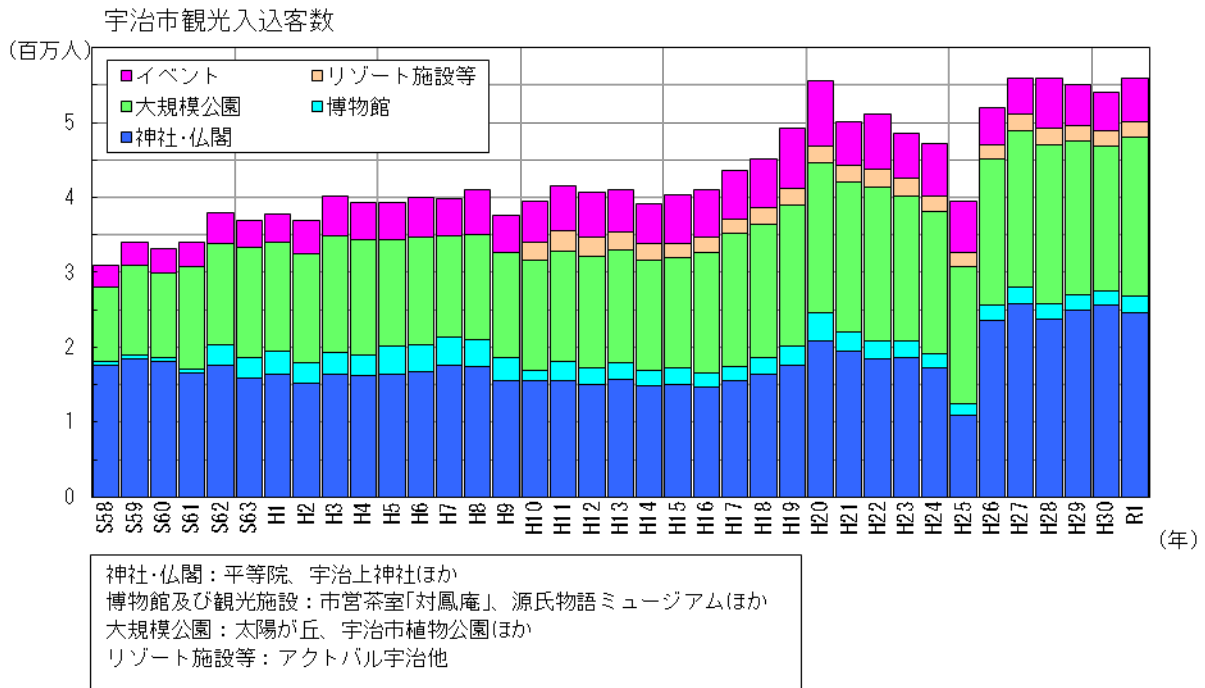


図 7.5-5 宇治市観光入込客数

出典：宇治市 HP 観光・催し>観光情報>宇治市の観光客数について
<https://www.city.uji.kyoto.jp/uploaded/attachment/16535.pdf>

2) 近隣の観光イベント等の開催

水源地域では、表 7.5-3 に示す観光イベントが行われている。

表 7.5-3 観光イベント一覧

	大津市	宇治市	宇治田原町
春	<p>おおつ花フェスタ 大津っ子まつり 献餞供御人行列</p>	<p>開山（隠元禪師）忌 宇治川さくらまつり 炭山陶器まつり 宇治川まつり（宇治神社） 市民茶摘みの集い 宇治川写生大会（宇治川河畔一帯） 茶摘み（市内各茶園） 宇治神社神幸祭（旧宇治町一帯） 全国煎茶道大会（黄檗山萬福寺） 宇治川魚釣大会（宇治川一帯） 頼政忌（平等院）</p>	<p>春番茶刈り 猿丸神社春期大祭 茶宗明春期大祭 さくら祭り 茶摘み 町茶品評会</p>
夏	<p>みずほ祭り ウチョウラン展示会 漏刻祭 びわ湖大津館の西洋式回遊庭園 公私立保育園の写真展 ROCK ON OTSU 大津キャビック展 びわ湖大津なぎさ音楽祭 学区対抗ビーチバレーボール大会 びわ湖大津サマーフェスタ 花器品評会 堅田湖族まつり 船幸祭 米寿写真展 ゆかた祭り</p>	<p>鶺鴒 ライブジャック 大幣神事（あがた神社） 宇治神社還幸祭（旧宇治町一帯） 七夕まつり（宇治神社） 千日参り（三室戸寺） 宇治川花火大会 県まつり</p>	<p>ホテル保護パトロール 住民プール開き にりこみ囃子 ふるさとまつり（花火大会）</p>
秋	<p>白馬国際芸術祭 大津・京橋教室作品展 環境パートナーシップ交流会 大津祭 大津なぎさオータムフェスタ 近江神社一流鎗馬 びわ湖車いすテニストーナメント大会 我が町ー堅田の橋 展示会 大津市勤労青少年ホームレイキーフエスタ 秋のライトアップー紅葉の門前町坂本 比叡山延暦寺の紅葉 町屋 まちなか 博覧会</p>	<p>茶まつり 観月茶会 源氏ろまん（紫式部文学賞、宇治大田楽まつり等） 黄檗山月見の会（黄檗山萬福寺） 開山（道元禪師）忌（興聖寺） 製茶記念日・献茶祭（宇治神社ほか） 宇治茶まつり（宇治橋・中の島付近） 百味の御食（白山神社） 源氏ろまん 宇治十帖スタンプラリー</p>	<p>大滝大明神祭 田原祭（三社祭） ふるさとまつり（観月茶会） 福祉バザー 柿屋建て</p>
冬	<p>大津の子ども総合美術館 坂本ひな人形展</p>	<p>除夜（鐘突）（平等院ほか） 初あがたまつり（あがた神社） 紅葉講春季大会 節分祭（宇治神社ほか） 宇治市観光写真コンクール 宇治川マラソン 関白忌（平等院） 山宣祭（善法墓地）</p>	<p>出初式 高尾の緑たたき 神縄座</p>

7.6 河川水辺の国勢調査（ダム湖利用実態調査）結果

天ヶ瀬ダム（鳳凰湖）のダム湖利用実態調査結果による利用状況では、近年においては毎年約 35 万人の利用者が訪れていたが、平成 21 年（2009 年）、平成 26 年（2014 年）と減少傾向を示したが、令和元年には回復し、約 40 万人が訪れている。利用者は主に湖畔を訪れ、目的は釣り、スポーツ、野外活動および散策である。

ダム湖周辺及び曾束緑地周辺では宇治市、大津市からの来訪者が多くなっている

表 7.6-1 ダム湖利用実態調査結果

（単位：千人）

		平成6年度	平成9年度	平成12年度	平成15年度	平成18年度	平成21年度	平成26年度	令和元年度
所別 利用場	湖面	28.3 (4.2%)	35.9 (7.5%)	62.6 (17.7%)	37.6 (10.9%)	21.9 (6.2%)	29.6 (7.8%)	23.2 (7.4%)	15.4 (4.9%)
	湖畔	621.7 (92.4%)	423.5 (88.2%)	290.4 (82.3%)	256.1 (74.0%)	281.5 (80.2%)	321.8 (85.0%)	267.2 (85.2%)	390.1 (124.4%)
	ダム	23.1 (3.4%)	20.8 (4.3%)	0.0 (0.0%)	52.3 (15.1%)	47.4 (13.5%)	27.0 (7.1%)	23.1 (7.4%)	0.0 (0.0%)
	合計	673.1	480.2	353.0	346.0	350.8	378.5	313.6	395.8

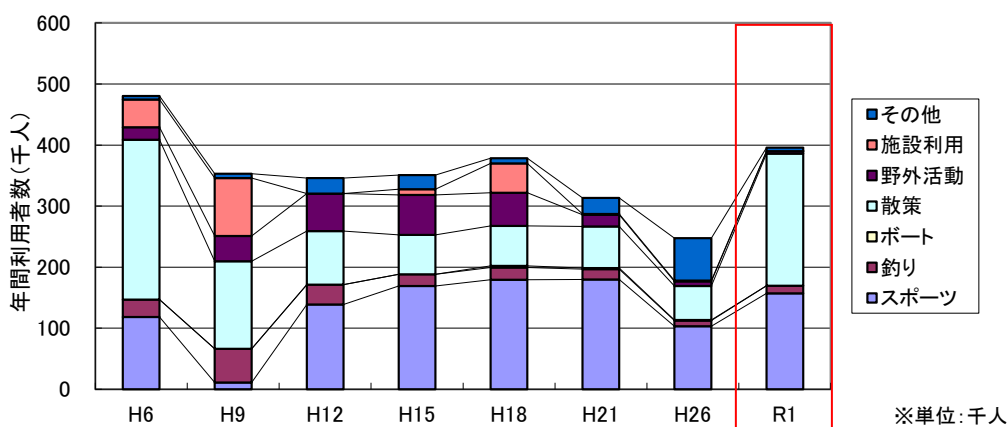


図 7.6-1 ダム湖利用実態調査結果

出典：資料 1-18

平成 21 年度の結果については、平成 18 年度ダム湖利用実態調査による手法にて試算した値（速報値）である。なおダム湖利用実態調査は、「河川水辺の国勢調査〔ダム湖版〕（国土交通省 河川局 河川管理課）」により、平成 3 年度（1991 年度）から 3 年毎に実施しており、四季を通じた休日 5 日、平日 2 日の合計 7 日の現地調査（利用者アンケート調査：直接ヒアリング、利用者カウント調査）を実施し、年間利用者数の推定を行うものである。

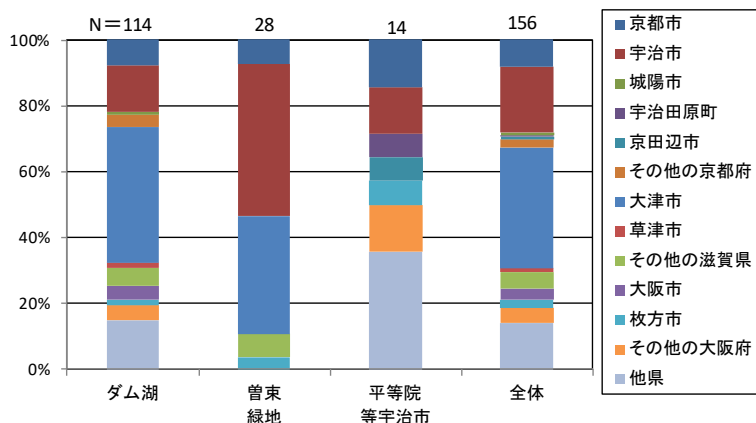
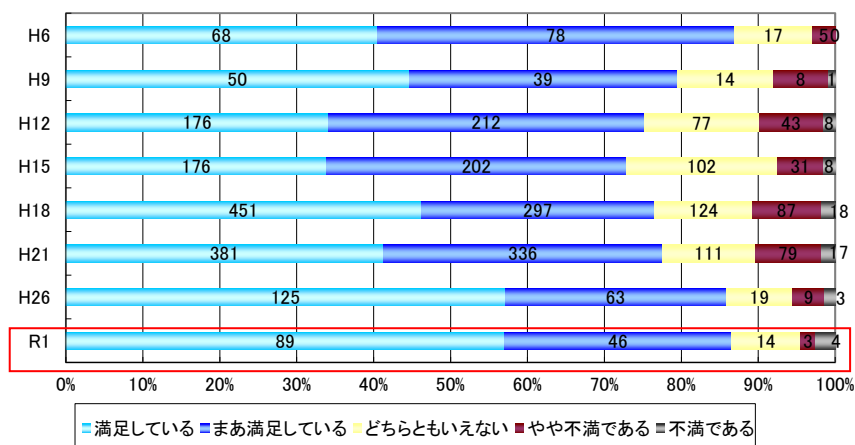


図 7.6-2 最終目的地別の来訪者の居住地（平成元年）

天ヶ瀬ダムを利用した感想を聞いた結果では、「満足している」「まあ満足している」が約86%を占めている。なお、個別の感想については、表7.6-2に示した。



注：図中の数字は回答者数

図 7.6-3 水辺の国勢調査（ダム湖版）アンケート結果

表 7.6-2 利用者の感想（平成26年度調査結果）

ブロック	代表的な感想	
	良い点	悪い点
1 ダム直下流	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ等施設も整っていてよい。 ・涼みによい。特に右岸側。 ・静かで景色も良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バーベキュー等の利用者のマナーが悪い。 ・トイレが右岸側に設置されていない。 ・川岸のどこかに自販機がほしい。
2 ダムサイト	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史を感じる発電所が良かった。 ・自然が多いので満足している。 ・ダムが立派。アーチ形のダムは全国に数が少なく珍しい。 ・ダムの放流や、桜の季節の景観などが楽しめる。 ・展望台からの景色が良く満足している。 ・人が少なくスペースが広くあり満足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工事中であり、行ける場所が限られてしまう。 ・道が十分に整備されていない。
3 ダム湖	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の景観が良い。 	—
4 大石	<ul style="list-style-type: none"> ・広いので散歩が楽しみで風景もよい。 ・水質が良く子供が楽しめる。 ・地元から来やすい。子供を連れてきやすい。 ・自然なところが多くて良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・雨の日の犬の散歩が大変である。
5 大石運動公園	<ul style="list-style-type: none"> ・広い駐車場があり、ゆっくりとできるので利用しやすい。 ・毎日朝は空気が良くジョギングができる場所。 ・テニスコートなどの設備が整っていて大変満足。 ・風景等が良い場所で知り合いと交流ができる場所。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大雨の後のゴミの処理が不完全。 ・カワセミがたくさんいたのに、工事を境にいなくなった。 ・湖に中洲ができており、住民も税金の無駄遣いしていると指摘している。
6 曾東緑地	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドが広く、整備されていて良い。施設も無料開放で利用している。 ・トイレ、駐車場もあり便利。 ・子供が安心して遊べる。犬も連れてこれるのが良い。 ・平日は比較的すいていて、整備も良くされていて良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工事箇所（崖崩れ）を早く整備してほしい。 ・ゴミ、路上駐車、山菜の無断採取など、利用者のマナーが悪い。 ・駐車場が足りない。 ・路面状態が悪く走りにくい。

出典：天ヶ瀬ダム水辺現地調査（陸上昆虫類等）業務報告書Ⅱ. ダム湖利用実態調査編

7.7 まとめ

天ヶ瀬ダムの水源地域動態の評価結果を以下に示す。

- 天ヶ瀬ダムは、宇治市の観光の中心から近く、天ヶ瀬森林公園も隣接し、散策の拠点等として年間約 2.6 万人（平成 27～令和元年平均）が訪れている。
- 天ヶ瀬ダムの周辺は、天ヶ瀬森林公園や大石緑地スポーツ村が整備され、散策やスポーツ活動の拠点として、多数の利用者がある。
- 天ヶ瀬ダムは、地域住民の散策の場や協働、小中学校の総合学習・職場体験の場等に利用されており、水源地域の活性化に寄与している。
- 一方、水源地域の活性化や地域との連携の視点から、以下のような課題を有している。
 - ・貯水池沿いの道路は幅員が狭く大型車等の通過交通量が多い。
 - ・不法投棄や上流から流下してくるゴミが多く景観を損ねている。
 - ・天ヶ瀬ダムには来場者用の駐車スペースが確保されておらず、バス路線などの公共交通機関もないため、利便性に欠ける。

今後の方針として、水源地域の活性化を図れるよう、今後も引き続き、地域とともに水源地域ビジョンの実施を推進していく。また、水源地域と連携して、今後も総合学習などの場を提供していく。

7.8 文献リスト

天ヶ瀬ダムの水源地域動態にかかわる評価のため、以下の資料を収集整理した。

表 7.8-1 水源地域動態に使用した文献・資料リスト

No.	報告書またはデータ名	発行者	発行年月	箇所
7-1	入場者数合計表	淀川ダム統合管理事務所	平成14年～令和元年	ダム見学者数
7-2	淀川ダム統合管理事務所ホームページ記者発表資料	淀川ダム統合管理事務所	平成27年～令和元年	各種イベント
7-3	職場体験学習実施状況一覧表	淀川ダム統合管理事務所	平成27年～令和元年	職場体験
7-4	国勢調査結果	総務省統計局	昭和30年～平成27年 (5年毎)	水源地域センサス (人口、産業別就業人口)
7-5	新聞記事(淀川ダム統合管理事務所スクラップ集)	京都新聞 洛南タイムス	平成27年～令和元年	地域とダムとの関わり
7-6	天ヶ瀬ダム水源地域ビジョン	天ヶ瀬ダム水源地域 ビジョン策定委員会	平成17年	ダムと地域の関わりに関する評価